

「神戸づくりの指針」中間とりまとめ（概要版）（案）

平成22年4月15日

「神戸づくりの指針」中間とりまとめの全体構成

計画策定にあたっての前提

はじめに 指針の策定について

第1部 2025年の神戸のまちの展望

主な社会潮流
①少子・超高齢化の進行、②グローバル化する社会・経済
③地球温暖化防止の取り組み、④地域主権改革・指定都市制度

神戸のめざす姿
創造都市（デザイン都市）の実現

神戸づくりの視点
① 市民一人ひとりが能力を発揮するまち
② 人と人とのつながりを活かし地域が主体となるまち
③ 新たな価値を創造し世界へ発信するまち

神戸の現状と将来直面する様々な課題、指針の視点を示します。

協働による取り組みの方向性

① 市民のくらしの安定化を図るための早急な取り組み

第2部 くらしを守り経済を発展させる
・福祉、健康、住まい、消費者問題、雇用、地域経済など

② 次の世代に向けた将来への取り組み

第3部 ひとを育み新たな豊かさを創造する
・ユニバーサル社会、子育て、教育、文化、知識産業など

③ 安全で環境に配慮したまちづくりへの取り組み

第4部 安全を高め未来につなぐ
・防災・防犯、自然共生、景観形成、低炭素社会など

くらしをまもり、経済を活性化させ、神戸のまちの魅力を高めるために必要となる、協働と参画による取り組みを示します。

取り組みを支える「まち・ひと・くらし」

未来につなぐまちの姿づくり

第5部 神戸を支えるまちを形成する
・都市構造、土地利用、交通体系など

市民、事業者、行政が一体となったまちづくり

第6部 「神戸づくり」にともに取り組み
・協働と参画、行政経営、地域づくりなど

取り組みを実現するための、まちの姿を示します。

「協働と参画」の更なる推進への取り組みや神戸づくりを支えるしくみ等を示します。

多様な「ひと」の「くらし」

グローバル社会において輝きを放つ神戸

第7部 「世界の中での神戸」を確立する
・多様な「ひと」が集い・交わり・生きるまち、リーディングエリアでの取り組み

まちづくりの起点を「ひと」に

むすび 「ひと」を「たから」とし、新たな豊かさをともに創造する（協創）

グローバル化に対応した「世界の中での神戸」の確立に向けた取り組みを示します。

多様な「ひと」の集積、交流と活躍を、未来の神戸づくりの基本として示します。

はじめに 指針の策定について

この部の概要

計画策定にあたって、はじめにこれまでの歩みを振り返ることで、現在の神戸を再認識します。特に、阪神・淡路大震災からの復旧・復興の経験によりさらに強固となった「協働と参画」の取り組みについて振り返ります。

また、基本計画の全体構成や各計画の内容・役割について示します。

1 協働と参画の取り組み

(震災復興を契機としたまちづくりの新しい発展)

- ・六甲の山々や海、温暖な気候など豊かな自然
- ・幕末以降の港を中心に発展した歴史
- ・震災による大きな被害と、復旧・復興過程で得られた「きずな・支えあう心」

(復興の総括・検証をふまえて)

- ・協働と参画のまちづくり
- ・これまでのまちづくりのキーワード(「安全・安心」、「健康」、「交流・融合」)

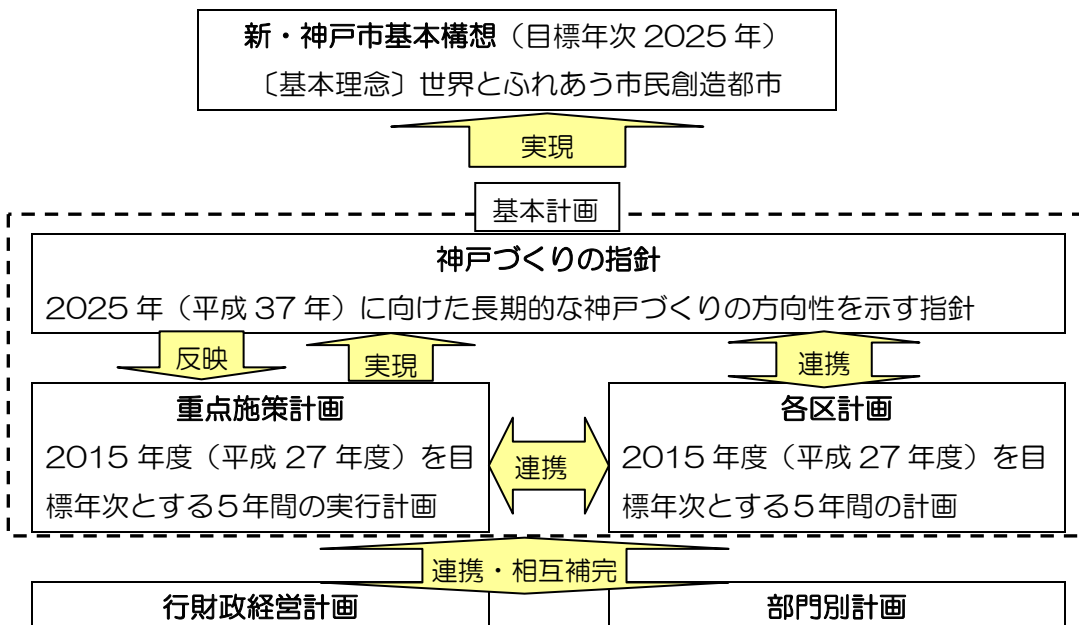
(協働と参画のより一層の推進)

- ・「神戸市民の福祉をまもる条例」(1977(昭和52)年制定)や「ふれあいのまちづくり」
- ・復興過程での大規模な行財政改革
- ・協働と参画の一層の推進(協働・参画3条例)

【これまで進めてきた協働の取り組み】

- (1) 市民のくらしの「安全・安心」を確保する
 - ・防災福祉コミュニティなど自助・共助・公助の取り組み
- (2) 「健康」を確保し人・物・情報の「交流・融合」を図る
 - ・医療産業都市構想、次世代スーパーコンピュータなど新たな取り組み

2 計画の策定趣旨



第1部 2025年の神戸のまちの展望

この部の概要

神戸づくりの指針を策定するにあたって、神戸を取り巻く主な社会潮流を整理・分析し、今後の神戸づくりを進めるにあたっての基本的な考え方を「視点」として示すとともに、神戸づくりの指針の構成の考え方を示します。

1 神戸を取り巻く社会・経済の動き

① 少子・超高齢化の進行

- ・長期的には人口減少に転じるとともに、急速な高齢化の進行が予測されている
(全市人口 : 152.5万人(2005年) → 146.7万人(2025年推計))
(75歳以上人口 : 13.2万人(2005年) → 28.0万人(2025年推計))

② グローバル化する社会・経済

- ・グローバル化の進展は、経済における日本の相対的地位の低下や市民生活の不安定化の一要因となっている

③ 地球温暖化防止の取り組み

- ・地球的課題である温室効果ガス排出削減の取り組みが、神戸においても喫緊の課題となっている

④ 地域主権改革・指定都市制度の課題

- ・現在の指定都市の持つ税財源や権限が十分ではなく、地域主権の実現に向けた権限と税源の移譲に向けた取り組みが必要となっている

2 現状から見えてくること

社会・経済の動きへの対応の必要性

(少子・超高齢化等への対応、メガリージョンの形成、低炭素社会の実現 等)

3 神戸をめざす都市像と神戸づくりの視点

(1) 創造都市(デザイン都市)の実現

- ・神戸のまちが持つ魅力や資源、協働と参画による震災復興の取り組みなどを活かし、デザインの視点で磨きをかけ、暮らしを豊かにし経済を活性化させる創造都市(デザイン都市)を推進する

(2) 神戸づくりの視点

① 市民の視点：市民ひとりひとりが能力を発揮するまち

- ・年齢・性別・身体状況・国籍等に関わらず、それぞれの持つ能力を発揮し支えあうまちをめざす

② 地域の視点：人と人とのつながりを活かし地域が主体となるまち

- ・地域での取り組みを強化し、行政とともに役割分担を行いながらまちづくりを進める

③ 広域的な視点：新たな価値を創造し世界へ発信するまち

- ・国内外の多様な人材が集積し交流・融合することで新たな価値を創出するとともに、グローバル化に対応するためのメガ・リージョンを形成する。

4 「神戸づくりの指針」の構成(略)

第2部 暮らしを守り経済を発展させる

この部の概要

グローバル化の進展により、世界経済の動きが私たちの暮らしに直接大きな影響を与えるようになり、雇用や経済の不安定化を招いています。また、急激な少子・超高齢化の進行も、わたしたちの暮らしに大きな影響を与え、将来への不安につながっています。

まずはじめに、生活の基礎となる福祉や健康、雇用や産業振興など各分野の「暮らしをまもり、経済を発展させる」取り組みを横断的に実施し、少子超高齢化やグローバル化の進展に対応します。

暮らしをまもる

1 とともに支えあう社会をつくる

◆高齢、障害や貧困など様々な理由で支援を必要とする人々への対応

- ① 支援のしくみの一層の充実を図ります
- ② 多様化するニーズへのきめ細かい対応を進めます
- ③ それぞれの人の地域活動や就労などを支えます
- ④ 地域での支えあいを進めます

・身近なコミュニティでの見守りや支えあい
・あらゆる人を重層的に包容する社会の実現（リ・ソール・イノベーション）

2 安心な暮らしをまもる

◆医療・健康や住まい、消費者問題など不安の解消

- ① 健康に暮らしのための環境づくりを進めます
- ② 安心して豊かな住まいづくりを進めます
- ③ 消費者問題への取り組みを進めます

・救急医療や「こころの健康」対策等の充実
・住宅困窮者への対応
・消費者被害を防ぐ見守り

3 働きやすい環境を整える

◆就労の場と働きやすい環境の確保

- ① 多様な働き方の推進により「仕事と生活の調和」が実現した社会をめざします
- ② 一人ひとりが持てる能力を伸ばし、活躍の場を広げます
- ③ 働きたい人の希望と働く場のコーディネートを進めます
- ④ 働く場を安定的に確保します

・ワーク・ライフ・バランスの推進
・福祉と就労の連携

経済を発展させる

4 暮らしに身近な産業を振興する

◆農業、商業、社会的企業など市民の暮らしに身近な産業の活性化

- ① 農水産業のブランド化と地産地消を進めます
- ② 地域と一体となった商店街・小売市場づくりを進めます
- ③ 暮らしに身近なサービスにおける新たなビジネスづくりを支援します
- ④ 社会的企業が活動しやすい仕組みをつくります

・地域に根ざした産業振興
・社会的企業の振興

5 ものづくりを核に産業の高付加価値化を図る

◆強みを活かしたものづくりやデザインによる付加価値の向上

- ① 新たな成長分野で活躍する産業を振興します
- ② 産学官連携により優れたものづくり技術を生む環境を整えます
- ③ デザインによる付加価値を生み出します
- ④ 中小企業の経営企画力を高めます
- ⑤ 新分野への挑戦を応援します

・成長分野の強化
・サービスを付加した価値創出

6 観光交流と企業誘致を進める

◆国内外からの集客と交流の促進、産業集積と雇用創出に向けた企業誘致

- ① MICE、国際観光、広域連携により滞在型観光を推進します
- ② 多彩な観光資源を活用・創出し、神戸ならではの観光を推進します
- ③ 魅力発信とおもてなしを充実します
- ④ 高い利便性と知的プロジェクトを活用し企業を誘致します
- ⑤ 臨海部における産業用地の活用により産業集積を促進します

・MICE 等集客観光の促進
・企業誘致の推進

第3部 ひとを育み新たな豊かさを創造する

この部の概要

神戸のまちが将来にわたり発展するため、一人ひとりの違いや個性を認め尊重し合うとともに、次の世代を担う子どもや若者が健やかに成長し、活躍できるまちとなることをめざします。

さらに、文化・芸術により人びとの感性やまちの魅力を高めるとともに、先端医療などの知的分野における産業の振興や、大学等の高等教育機関の集積を活かし、神戸のまちの成長力を高めます。

1 一人ひとりを大切にする

◆人権の尊重や社会参加の機会確保

- ① 一人ひとりを大切にする意識づくりを推進します
- ② 誰もが参画できるしくみづくりを推進します
- ③ 安全・安心で快適なまちづくりを推進します
- ④ 誰もが使えるものづくりを推進します

- ・人権の尊重
- ・ユニバーサルデザイン(UD)の推進
- ・ユニバーサル社会の実現

2 子どもを健やかに育む

◆次世代を担う子どもの育成

- ① みんなが応援し、家庭や地域で子どもを育みます
- ② 仕事と子育ての両立を支援します
- ③ 母親と子どもの健康を支援します
- ④ 子どもの安全・安心や生活環境を守ります
- ⑤ 保護が必要な子どもへの対応を充実します
- ⑥ 子どもが笑顔で通え、豊かに成長できる学校づくりを進めます
- ⑦ 市民の信頼にこたえる教育環境の整備を進めます
- ⑧ 生涯学習・スポーツを充実します

- ・家庭や地域の子育て力向上
- ・学校教育の充実による生きるための基盤づくり

3 神戸の文化を継承し創造する

◆文化芸術による神戸の魅力向上

- ① 市民が主体的に行う文化活動を支援します
- ② 文化芸術を担う創造的な人材を育みます
- ③ 文化芸術をまちづくりに活かし、産業や賑わいを創出します
- ④ 神戸の文化を活かし、都市ブランドを高め発信します

- ・文化による産業の振興
- ・都市ブランドの向上

4 「知の集積」を活かす

◆知の力による創造的なまちづくり

- ① 神戸医療産業都市構想を推進します
- ② 次世代スーパーコンピュータを活かし、企業等の集積を促進します
- ③ 知の交流を進めます
- ④ 学とともに明日の神戸をつくります

- ・パートナー・イノベーションの形成
- ・大学等の知的資源の活用

第4部 安全を高め未来につなぐ

この部の概要

市民の生活や企業活動など、安心して暮らしを営むためには、その舞台となるまちが将来にわたって持続できるものである必要があります。

そのため震災の教訓をふまえ、防災・減災の取り組みや、山や海など豊かな自然を守る取り組み、また地球的規模の課題である地球温暖化問題に対応したまちづくりを進めていきます。

このような取り組みを進めることで、安全で、自然豊かで、魅力あふれるまちを将来の世代に継承していきます。

1 まちの安全を確保する

◆防災・防犯など安全なまちづくり

- ① 都市基盤施設の適正な維持管理・機能強化を進めます
- ② 災害に対する都市の防災機能の一層の向上を図ります
- ③ 危機管理のための体制の維持・向上を進めます
- ④ 市民、事業者、市の協働による安全性の向上を進めます
- ⑤ 震災の教訓をふまえた防災意識の向上を進めます

- ・施設の長寿命化の推進
や都市防災機能の向上
- ・防災意識の向上

2 まちの美しさや魅力を守り高める

◆神戸の魅力を高める景観などの形成

- ① 水と緑など自然環境を活かしたまちづくりを進めます
- ② 生物多様性の保全など自然共生社会の実現をめざします
- ③ 神戸固有の多様で特色あるまちなみを形成します
- ④ 美しさや魅力を向上させる取り組みを進めます

- ・自然環境の保全育成
- ・魅力ある景観の形成

3 低炭素社会を実現する

◆地球温暖化防止に貢献するまちづくり

- ① 低炭素社会の実現に向けた都市構造を形成します
- ② エネルギーの効率的な利用によるまちづくりを進めます
- ③ 低炭素社会の実現に貢献する産業を振興します
- ④ CO₂排出量の削減にも寄与する循環型社会の実現に向けて取り組みます

- ・都市の低炭素化
- ・関連産業の振興

第5部 神戸を支えるまちを形成する

この部の概要

市民や事業者などのあらゆる活動の舞台となる「まち」について、これまで築いてきた都市基盤を活かし、豊かな自然環境との調和を図りながら、くらしを豊かにし、経済を活性化する都市空間づくりを進めます。

1 めざすまちの姿

◆都市空間づくりにおける基本的な視点

- (1) あらゆる災害に備え、くらしや経済活動を支える安全な都市空間
- (2) 人と環境にやさしい都市空間
- (3) デザインの視点で磨かれた魅力ある都市空間
- (4) 活力を創造する都市空間

・成熟社会への対応
・都市機能や都市環境インフラの継承

◆めざすまちの姿の全体像

- ① さまざまな都市機能と豊かな自然環境の調和による魅力あるまちづくり
- ② 都心域および地域拠点・連携拠点などの機能強化
- ③ 活力をもたらす産業エリアの機能強化
- ④ 海・空・陸の総合的な交通ネットワークの形成
- ⑤ 神戸の魅力を発信するリーディングエリアの形成

2 地域特性を活かした土地利用を図る

◆神戸のまちを形成する3つのゾーンの維持・活用

① まちのゾーン

住宅地、商業・業務地、工業・流通業務地における適正な土地利用を誘導

② 田園のゾーン

良好な営農・生活・自然環境を保全・活用しながら、地域特性を活かした土地利用を誘導

③ みどりのゾーン

都市の骨格を形成する緑地の保全・育成

・住宅開発による市街化区域の拡大抑制
・適正な土地利用の誘導

3 海・空・陸の総合交通環境をつくる

◆グローバル化や超高齢化に対応した交通環境の形成

- ① 人の交流を促進する交通環境を形成します
- ② 経済を活性化し、環境にやさしい交通環境を形成します

・関西メガ・リージョンにおける都市基盤の強化
・公共交通への利用転換の促進

第6部 「神戸づくり」にともに取り組む

この部の概要

将来の神戸づくりに向けた取り組みの基本となる、民・学・産と行政による「協働と参画」の取り組みを一層推進するため、各主体の責任と役割について認識を共有するとともに、各主体間の相互の信頼やきずなをこれまで以上に深める仕組みを構築します。

また、地域主体のまちづくりを進めるための制度や仕組みを整備し、市民の知恵と力が生きる、個性豊かな地域の育成を進めます。

1 協働と参画をさらに進める

◆神戸づくりにともに取り組む仕組み

- ① 各主体の相互の信頼を深めます
- ② 協働と参画の仕組みを発展させます

・各主体の役割分担
・相互の信頼、きずなの醸成

2 効率的な経営をさらに進める

◆行政の仕組み

- ① 柔軟で機動的な行政システムを構築します
- ② 高質な行政を支える人材を育てます
- ③ 新たな大都市制度の確立を図ります
- ④ 利便性の高い広域生活圏を形成します

・市民満足度の高い効率的な行政システムの構築
・地域主権、税財政制度、広域政策への対応

3 みんなで「わがまち」を育む

◆地域の力による神戸づくり

- ① 人と人とのつながりが豊かな地域コミュニティづくりを進めます
- ② 地域を支える人材等の育成を進めます
- ③ ゆるやかな連携を促進します
- ④ 地域支援のための体制強化をめざします

・人と人とのつながりを活かしたまちづくり
・総合的・自律的な地域運営の展開

4 地域の特色ある環境を育む

◆地域による課題への取り組み

(1) 密集市街地の再生

- ① 地域特性をふまえた身近な生活道路の整備と建物の耐震化・不燃化を進めます
- ② 空閑地（空き地・空き家等）の有効活用を進めます

(2) ニュータウンのオールドタウン化への対応

- ① 地域人材を活かし、地域のコミュニティを強化します
- ② 多様な主体の協働により地域活動を展開します
- ③ 良好な住環境を保全・育成するためのまちづくりを推進します

(3) 田園地域の活性化

・地域主体の住環境づくり
・地域主体の田園地域づくり

第7部 「世界の中での神戸」を確立する

この部の概要

神戸のまちが直面する様々な課題に対応しながら、同時に国内外に存在感を示し選ばれる都市であり続けるために、性別・身体的能力や特徴、人種、価値観などあらゆる多様性が尊重され、それら多様な人材が「集い」、「交わり」、「生きる」まちづくりを進めます。

また、神戸のにぎわいや活力の創造を先導し、世界に向けて神戸の魅力を発信するリーディングエリアの形成を進めます。

これらの取り組みのもとに、次々と新たな価値やイノベーションが生み出される「世界の中での神戸」の確立を図ります。

1 多様な「ひと」が集い・交わり・生きるまちへ

◆グローバル化に対応したまちづくり

- ① 多様性が生きる仕組みをつくります
- ② 多様な「ひと」が集う仕組みをつくります
- ③ 「ひと」が交わり、生きる仕組みをつくります

・都市ぐるみでの「多様性が生きるまちづくり（ダイバーシティ・マツリノト）」の推進
・人材に着目した取り組みの推進

2 にぎわいと活力をもたらすリーディングエリアを形成する

◆世界に発信する拠点づくり

- (1) 都心・ウォーターフロント ～世界に誇れる『港都 神戸』～
 - ① 港の歴史を継承し、「みなと・まち・やま」をつなぎます
 - ② ウォーターフロントを都心化し、都心全体の機能向上を図ります
 - ③ 都心とウォーターフロントの回遊ネットワークを形成します
- (2) ポートアイランド ～世界に開かれた未来志向型都市～
 - ① 新たな活力・知を創造するまちを創出します
 - ② 魅力的で質の高い都市環境を形成します
- (3) 兵庫運河周辺 ～世界に貢献するものづくりのまち～
 - ① ものづくり産業の振興を図ります
 - ② 兵庫運河など歴史的資源を活用します
 - ③ 地域の魅力・活力を伸ばします

・神戸の特性を活かした「カ・リ・ゾ」における拠点づくり

むすび

「ひと」を「たから」とし、新たな豊かさをともに創造する（協創）

- 豊かな自然、異国情緒あふれるまち、先取気鋭の精神、震災復興の経験・協働
- 一方で、グローバル化や超高齢化など、これまでにない社会の変化への対応が必要

都市ぐるみで

- ・ 「ひと」を、これからの神戸づくりにおけるかけがえのない「たから」と捉える
- ・ 多様性が活きるまちづくりを推進しながら、新たな創造やイノベーションを生み出す
- ・ 多様な「ひと」のきずなを深めながら、協働と参画をさらに発展的に推進する

「ひと」を「たから」とし、新たな豊かさをともに創造する（協創）

先人たちの歩みを引き継ぐ

- ・ 明治の「観音林倶楽部」や賀川豊彦など、市民の自律的・相互扶助による取り組みの歴史
- ・ 戦災、水害・震災など、幾多の苦難を支えあい乗り越えてきた歴史